

コード	名称	区分	コード	名称	
事業名	1119-1 林業振興経費(間伐材利用促進補助)	会計	01	一般会計	
		款	06	農林業費	
		項	02	林業費	
		目	02	林業振興費	
		細目	320	林業振興経費	
基本	42	持続的で個人的な農林業を実践する	細目	51	林業振興経費
行革大綱の重点事項番号					
担当部署	コード 750100 名称 青山支所 振興課	担当者氏名	中山 良恵	連絡先 52 - 1114 (内線)	

### 事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	区、自治会 ※対象件数 28地区
成果(どうする)	区が設置するバス停、防災倉庫、ゴミ集積所などに間伐材を利用することで、間伐材利用施設のPR、間伐材利用が促進される。
根拠法令・要綱等	伊賀市補助金等交付規則
開始年度	平成 17 年度
終了年度	平成 22 年度
H21 事業内容	・区等が設置する伊賀産材等国産間伐材を使用したバス停や防災機材倉庫、ゴミ集積所など住民が共同で利用する施設を設置する場合、事業費の9割(上限50万円)を補助する。 ・滝地区防災資材庫 1棟
社会情勢の変化等	特になし

#### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

#### 運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

### 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			事業実施地区数	地区	目標 1 実績 1	目標 1 実績 1

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				施設設置数	箇所	目標 1 実績 1	目標 1 実績 1

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)		(千円)		(千円)		(千円)	
直接事業費計(A)	400		400		400		400	
Aの財源内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	400		400		400		400	
事業投入人件費(B)	0.1人	720	0.1人	720	0.1人	720	0.1人	720
フルコスト(A)+(B)		1,120		1,120		1,120		1,120

### 事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。【事業名】	○
	受益者負担を求めることができる事業である。全体コストにおける負担構成は適正である。コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

#### 昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	設置施設に設置目的を明確に表示し、市民への啓発に努めると共に市全域での間伐材の利用促進を図る。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の取組状況	滝地区の防災資材庫の設置補助を行った。

### 今後の方向性(Action)

担当課長氏名	藤原 四郎
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	間伐促進事業と連携し、間伐材による地域の共同施設に利用。市全体に広げるとともに補助金も充実したい。
現時点における課題、その他	予算の範囲(40万円)で実施しているが、申請が複数になると割算になり地域では、事業が出来なくなる。このため申請を1地区にしている現状。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	今後、間伐材の有効利用は、地域の施設建築だけでなく、観光看板、公共施設案内看板等幅広く利用出来るよう予算を含め検討する。